



Vol. 20, No. 5, Sep 2010

PAニュース  
発行：日本生理人類学会  
www.jspa.net

もくじ

▽大会案内	.....	1
▽資格認定担当からのお知らせ	.....	2
▽研究助成担当からのお知らせ	.....	3
▽研究部会レポート	.....	3
▽受賞者のことば	.....	4
▽今後の学会関連行事	.....	5
▽from Editors	.....	5

【大会案内】  
**第 63 回大会（2010 年千葉）の  
 お知らせ ー第 3 報ー**

大会長 岩永光一  
 （千葉大学大学院）

会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日本生理人類学会第 63 回大会を下記のとおり開催いたします。初日（10 月 30 日）の午後は、2 つの企画セッションと懇親会を続けて行う予定です。生理人類学の薫りを満喫し、秋の夜長を存分に楽しんでいただければ幸いです。多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

記

- 1) 会期：2010 年 10 月 30 日(土)・31 日(日)
- 2) 会場：千葉大学けやき会館  
 （千葉大学西千葉キャンパス、写真 1）  
 〒263 - 8522 千葉市稲毛区弥生町 1 - 33)
- 3) プログラム概要
  - (1) 一般口演(10/30・31), (2) ポスターセッション(10/31), (3) 企画セッション(10/30), (4) 総会(10/31), (5) 2009 年度学会各賞授賞式(10/31), (6) 懇親会(10/30)

- 4) 企画セッション(10 月 30 日(土) 午後)
  - (1) シンポジウム「生理人類学の体系 ーあれから. そして, これからー」  
 安陪大治郎 先生（九州産業大学）  
 小林宏光 先生（石川県立看護大学）  
 恒次祐子 先生（森林総合研究所）  
 安河内朗 先生（九州大学）  
 岩永光一（司会・千葉大学）
  - (2) 鼎談 「人間を理解するということ ー生理人類学の人間観ー」  
 佐藤方彦 先生（九州芸術工科大学名誉教授・前日本生理人類学会会長）  
 樋口重和 先生（九州大学）  
 福島修一郎 先生（大阪大学）
- 5) 懇親会：10 月 30 日(土)17:30(予定)  
 千葉大学けやき会館レセプションホール
- 6) その他の予定行事
  - 若手の会：10 月 29 日(金)夕刻, 千葉大学松韻会館（千葉大学西千葉キャンパス, 写真 2）
 ※その他詳細(アクセス, 参加費, 懇親会費)は大会 HP をご参照下さい。  
[http://www.jspa.net/references/63th\\_info/63th\\_info.html](http://www.jspa.net/references/63th_info/63th_info.html)
- 7) 大会事務局（問い合わせ先）：  
 〒263 - 8522 千葉市稲毛区弥生町 1 - 33  
 千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻  
 人間情報科学研究室

本文中のメールアドレスは、@を全角に変換してありますのでご注意ください

第 63 回大会事務局（石橋圭太）  
電話/ファックス：043 - 290 - 3093  
E-mail: jsps63@mail.goo.ne.jp



写真 1. けやき会館：会館の前にはケヤキやクスノキに囲まれた「かたらいの森」があります。千葉大生の憩いの場所です。



写真 2. 松韻会館：大会前日 10 月 29 日(金)に若手の会が開催されます。工学部同窓会の建物です。玉砂利を踏む音とまわり松の組み合わせがとてもよい雰囲気をかもし出してくれます。

## 【資格認定担当からのお知らせ】 平成 22 年度 生理人類士資格認定 試験のご案内

生理人類士認定委員会委員長  
橋本修左  
(武蔵野大学)

生理人類学会では、人材育成のために西暦 2000 年に生理人類士認定制度が創設され、これまで生理人類士資格を取得された多くの方々が様々な分野で活躍されています。当委員会ではこれまでの成果を踏まえ、本年度も資格内容充実、指定校拡大、テキスト改定などに取り組んでいます。本年度も生理人類士の資格認定試験を下記要領で実施しますので、まだ資格を取得されていない方は是非この機会に生理人類士資格を取得してください。また、既に生理人類士 1 級を取得されておられる学会所属の大学の先生方は、指定校としての申請をお願いいたします。

本制度には下記 3 種の資格があります。(1)および(2)は日本生理人類学会員で、前者は企業や大学等において豊富な実績のある方々を、後者は現在御活躍中の方々を対象としています。また(3)は本学会への所属は問わず、大学、短期大学等の学生あるいは社会人など、広く対象としています。

- (1) アメニティプランナー (生理人類士 1 級)
- (2) アメニティコーディネーター  
(生理人類士準 1 級)
- (3) アメニティスペシャリスト  
(生理人類士 2 級)

平成 22 年度の生理人類士認定試験募集要項は以下のとおりです。

<受験申込期間>

2010 年 10 月 1 日(金)～10 月 12 日(火)

<受験申込先>

各指定校に在学する受験希望者は各指定校責任者へ、また、それ以外の受験希望者は学会事務局へ直接申し込んでください。なお、受験資格、申込方法など詳細については学会 HP トップページにある研究活動「■資格認定」をご参照ください。

本文中のメールアドレスは、@を全角に変換してありますのでご注意ください

＜試験実施日時＞

1 級 ……………2010 年 11 月 28 日（日）  
13：00 ～

準 1 級・2 級 ……2010 年 11 月 27 日（土）  
13：00 ～ 14：00

＜試験実施会場＞

1 級 ……(株)国際文献印刷社・江戸川橋会議室  
を予定

(所在地：東京都新宿区山吹町 358 - 5)

準 1 級・2 級 ……各指定校試験会場

【研究助成担当からのお知らせ】

科研費申請のお知らせ

研究助成担当理事  
小林宏光・小谷賢太郎・古賀俊策

本年も科学研究費申請の時期が近づいてきました。所属機関毎に締め切り時期は多少異なりますが、大体 10 月中～下旬あたりが申請締め切りになると思われます。申請方法等に関しては、今のところ昨年からの変更は公表されていません。もし何か情報が入りましたらメーリングリスト等でお知らせします。

学術振興会の公表データによると、昨年度は応用人類学細目への申請件数も採択件数も前年よりも大幅に増加しました。研究者として研究予算を確保することは極めて重要ですが、本学会としても生理人類学分野の研究活動をアピールするため科研費申請は極めて重要です。昨年に引き続き本年もぜひ積極的な申請をお願いいたします。

【研究部会レポート】

高齢者居住研究部会

森 一彦  
(大阪市立大学)

我が国の高齢者率が 2 割 (2009 年 22.8%) を越え、いよいよ超高齢社会が訪れます。高齢者に関する研究は、すでに多くの分野で様々なアプローチから研究が進められております。生理人類学

会・高齢者居住研究部会は、高齢者の身体的な特性と居住環境との関わりに焦点をおき、高齢者居住環境のデザインの基盤となるデータの蓄積・整理・体系化を目的として、2001 年 (Vol.6, No.2)、2002 年 (Vol.7, No.2)、2007 年 (Vol.12, No.2) で高齢者居住研究部会特集を組み、最新の研究紹介と研究成果の整理に努めてきました。

本年度は、高齢者居住の臨床研究、実践的な研究に焦点をあて、その研究者、実践者を講師として招き、議論をする研究会を開催いたしております。すでに、下記のように 2010 年度で 2 回開催し、これからも引き続き開催していきます。ご関心のお有りの方は是非ご参加下さい。

第 23 回 (2010 年度第 1 回)

題目：「介護施設と高齢者住宅における生活・サポート体制・経営」

講師：奥村孝行氏

(高齢者専用賃貸住宅事業者協会事務局長)

日時：6 月 18 日 (金) 午後 6 時から午後 8 時

場所：大阪市立大学生活科学部・大会議室

内容：様々なスタイルの高齢者施設の管理・運営に携わってこられた奥村氏から、介護施設と高齢者住宅の違いについて、生活・サポート体制・経営など多角的にその問題点やあり方についてご講義頂きました。

第 24 回 (2010 年度第 2 回)

題目：「南海電鉄がめざす難波の街づくり」

講師：脇田和憲氏

(南海電気鉄道株式会社営業推進室)

日時：7 月 23 日 (金) 18：00～

場所：大阪市立大学生活科学部・大会議室

内容：南海難波のブランディング戦略や、ミナミのまちづくり団体の活動に携わられた経験と、先人が築いてきたなんばの歴史から最近の街づくりの事例を紹介していただきました。

第 25 回 (2010 年度第 3 回) 【予定】

題目：「セーフコミュニティ活動 (仮)」

講師：反町吉秀氏 (青森県上十三保健所長)

場所：大阪市立大学生活科学部・大会議室

内容：WHO の認定による「セーフコミュニティ」<<http://www.safetyprom.com/>> の認証が

国際的に広まりつつあります。わが国では亀岡市、十和田市や横浜市栄区、学校では大教大付属の池田小学校が認証を得ております。スウェーデンで始まったものですが、国際的な広がりを見せ、日本は今始まった段階だと言えます。第一人者の反町吉秀氏から、セーフコミュニティ活動の国際的な展開とわが国の各地域での取り組みを学べる良い機会です。コミュニティ活動に関心のある方々にも聞いていただけるとよいと思います。

### 【受賞者のことば】

2010年5月に大阪国際大学で行われました日本生理人類学会第62回大会(大会長:井上芳光先生)における研究発表で発表奨励賞を受賞した3名の受賞の弁を以下に掲載いたします。

<口頭発表部門>

#### 静的運動時における非活動肢の静脈血管応答に対する運動強度の影響

大上安奈

(日本女子体育大学)

この度はこのような荣誉ある賞を頂き、大変光栄に思っております。今回の受賞は、ご指導くださった先生方の叱咤激励と実験に携わってくださった多くの方々のご協力があったことだと思っております。特に、私が現在所属している日本女子体育大学基礎体力研究所 定本朋子所長、大学院時代からご指導・ご鞭撻いただいている神戸大学 近藤徳彦教授、神戸芸術工科大学 古賀俊策教授ならびに大阪国際大学 井上芳光教授には感謝の念が尽きません。

私は、運動時における非活動肢の導管動脈と静脈の血管および血流のふるまいに焦点を当て研究を行っています。動脈と比較して静脈は血管の種類や本数が多く存在し、個人差も大きいのが特徴です。また、ヒトの運動時の応答に関しては不明な点が多く残されています。今後も明らかにされていない課題をひとつひとつ解明していければと思っております。

今回の受賞を励みに、これからも研究活動により精進してまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

#### 他者行動の観察とミラーニューロン：脳波の Mu 波抑制の頭皮上分布について

末吉可奈

(九州大学)

この度は、このような荣誉ある賞に選んでいただき、深く感謝いたします。これもひとえに支えてくださった方々のおかげです。特に、初めての実験で、右も左もわからない私に、正月の時間さえも割いてご指導頂いた、樋口重和先生には感謝の言葉が尽きません。また、この実験及び解析にご指導、ご協力をいただきました九州大学の皆様に御礼申し上げます。

私は他者行動とミラーニューロンについての研究発表をさせていただきました。多くの先生方に、発表内容に対する意見をいただき、これまで他者行動の認知がどのように行われていると考えられていたのか、また脳波の特性など、これまでの研究成果や現在行われている研究について、まだまだ私の知識が乏しいことを痛感いたしました。貴重なご意見をありがとうございました。これからの研究に生かしていきたいと思っております。

私は今回の研究を通じて、研究することの大変さ、そして面白さも知りました。まだまだ研究者とは言えないような未熟者ではありますが、今回いただきましたこの賞を励みに、精進してまいりたいと思います。また、この研究が生理人類学会のさらなる発展につながることを切望いたします。

<ポスター発表部門>

#### 男子大学生の起床時コルチゾール反応と性格特性及び生活習慣との関連性

佐藤裕俊

(九州大学)

この度は研究奨励賞という栄えある賞に賜りまして頂きありがとうございます。生理人類学に触れて間もない私が授かったこの賞は、ご指導頂いた綿貫茂喜先生をはじめとした皆様への賜物です。また、本実験のメンバーの努力と、協力して頂いた九州大学の方々の心遣いにつきましても感謝の念に堪えません。この場を借りて感謝申し上げます。

今回の発表は唾液中に含まれるコルチゾール濃度がどのような要因と関係性を持つかというものでした。糖代謝を担うコルチゾールの起床時の反

本文中のメールアドレスは、@を全角に変換してありますのでご注意ください

応は、一日の活動を左右する要因として大きな意味合いを持つことが考えられます。生活習慣の多様化がみられる現代で、昼夜構わず作業に没頭することも少なくありません。自ら生活時間や環境を操作することのできる今、これらの要因が人間に与える影響を深く調査し、個人差の追及を行なうことで生理人類学の観点から社会に一石を投じることができるのではないのでしょうか。

この研究が受賞の誉れを頂けたことは望外の幸せでした。今後の研究の励みにするとともに、生理人類学の発展に貢献できるよう精進し、諸分野と連携し成果を社会に還元していきたいと思いません。本当にありがとうございました。

### 【今後の学会関連行事】

#### オフィス研究部会 2010 年度第 3 回講演会

会期：2010 年 10 月 29 日（金）10:00 - 12:00

場所：日本大学理工学部お茶の水キャンパス  
524 会議室

演題：「生活習慣と耐寒性」

北海道大学 前田享史 先生

「オフィスの音環境問題について」

日本 E R I (株) 阿部今日子 先生

連絡先：榎本ヒカル（労働安全衛生総合研究所）

enomoto@h.jniosh.go.jp

#### 生理人類学談話会

会期：第 3 回 2010 年 12 月 11 日

第 4 回 2011 年 3 月 5 日

場所：東京

連絡先：工藤奨（芝浦工業大学）

kudous@sic.shibaura-it.ac.jp

#### 第 5 回研究奨励発表会

会期：2010 年 12 月

場所：東京

連絡先：工藤奨（芝浦工業大学）

kudous@sic.shibaura-it.ac.jp

#### 日本生理人類学会第 64 回大会

大会長：柘原 裕

会期：2011 年 6 月 11 日（土）・12 日（日）

会場：九州大学大橋キャンパス

「多次元デザイン実験棟」

プログラム概要：

- 0) 理事会・若手の会 (6/10)
- 1) 一般口演 (6/11・12)
- 2) ポスターセッション (6/11・12)
- 3) シンポジウム I, II (6/11・12)
- 4) 懇親会 (大学食堂)
- 5) 施設見学 (環境適応研究実験施設、  
居住空間実験住宅など, 6/11)
- 6) 総会 (6/12)
- 7) 学会各賞授賞式 (6/12)

大会事務局（問合せ先）：

〒815 - 8540 福岡市南区塩原 4 - 9 - 1

九州大学大学院芸術工学研究院 柘原研究室

日本生理人類学会第 64 回大会事務局

E-mail: jsipa64@design.kyushu-u.ac.jp

Tel/Fax: 092 - 553 - 4522

今後の予定：

シンポジウム I, II のタイトル：2010 年 10 月末

大会案内郵送：2011 年 2 月初旬

演題締切：2011 年 4 月 11 日（月）

抄録締切：2011 年 5 月 10 日（月）

#### from Editors

**次号（11 月末発行）の原稿締切は 10 月 29 日（金）**

▽学会ホームページでの PANews 抜粋版の掲載を始めました。紙媒体での配布がない学生会員のため、また、会員の皆さまがバックナンバーをダウンロードするためという目的のほかに、会員外にも学会活動の広報をするという趣旨もあります。引き続き、皆さまの積極的な投稿などのご協力をお願いします。

会報担当理事：岡田 明（大阪市立大学大学院）

福島修一郎（大阪大学大学院）

本文中のメールアドレスは、@を全角に変換してありますのでご注意ください

PANews 編集事務局：

〒558 - 8585 大阪市住吉区杉本 3 - 3 - 138

大阪市立大学大学院生活科学研究科

居住環境学講座 岡田明

e-mail akira.pegasus@nifty.com

〒560 - 8531 豊中市待兼山町 1 - 3

大阪大学大学院基礎工学研究科

生体計測学講座 福島修一郎

e-mail fukushima@me.es.osaka-u.ac.jp